

あぎがわ 阿木川ダム防災操作による河川水位低減効果

独立行政法人水資源機構^{みずしげんきこう}が管理する阿木川ダムでは、9月22日から23日の降雨により、ダムへの最大流入量約144 m³/sを記録し、増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を行いました。

この操作により、阿木川ダムの下流約2.5 kmにある大門地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約8cm低減できました。

今回の防災操作

木曾川水系阿木川の阿木川ダム流域では、9月22日から23日に総雨量約85 mmの降雨を記録しました。

この降雨により阿木川ダムでは、毎秒約144立方メートルの最大流入量を記録し、この時に約17%に相当する毎秒約25立方メートルの水をダムに貯留しました。

これにより、大門地点ではダムが無い場合と比べて河川水位を推定で約8cm低減できました。

今回の降雨では、合計約13万m³(バンテリンドームナゴヤ約0.08杯分)の水をダムに貯留することで、河川水位の上昇を抑えました。

※ 今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。

令和4年9月27日

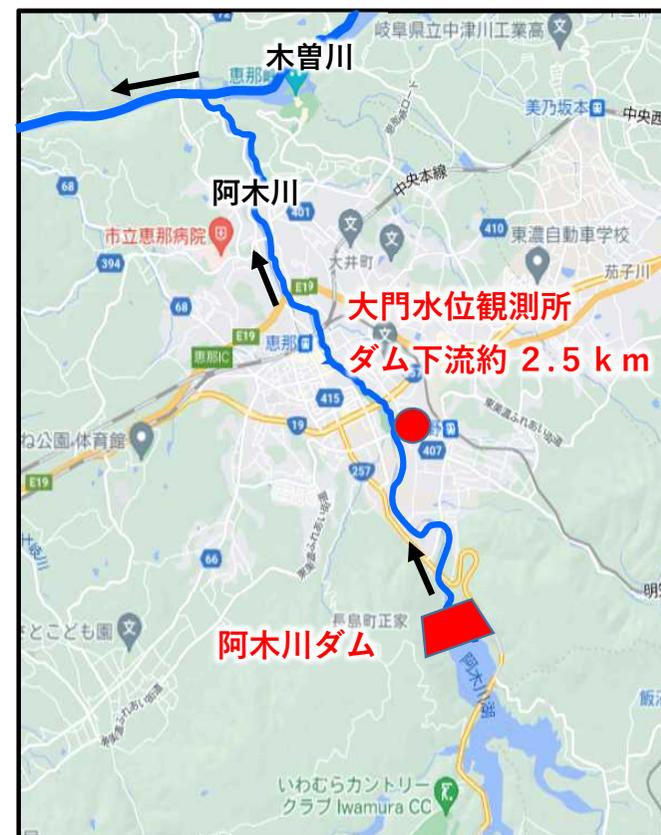
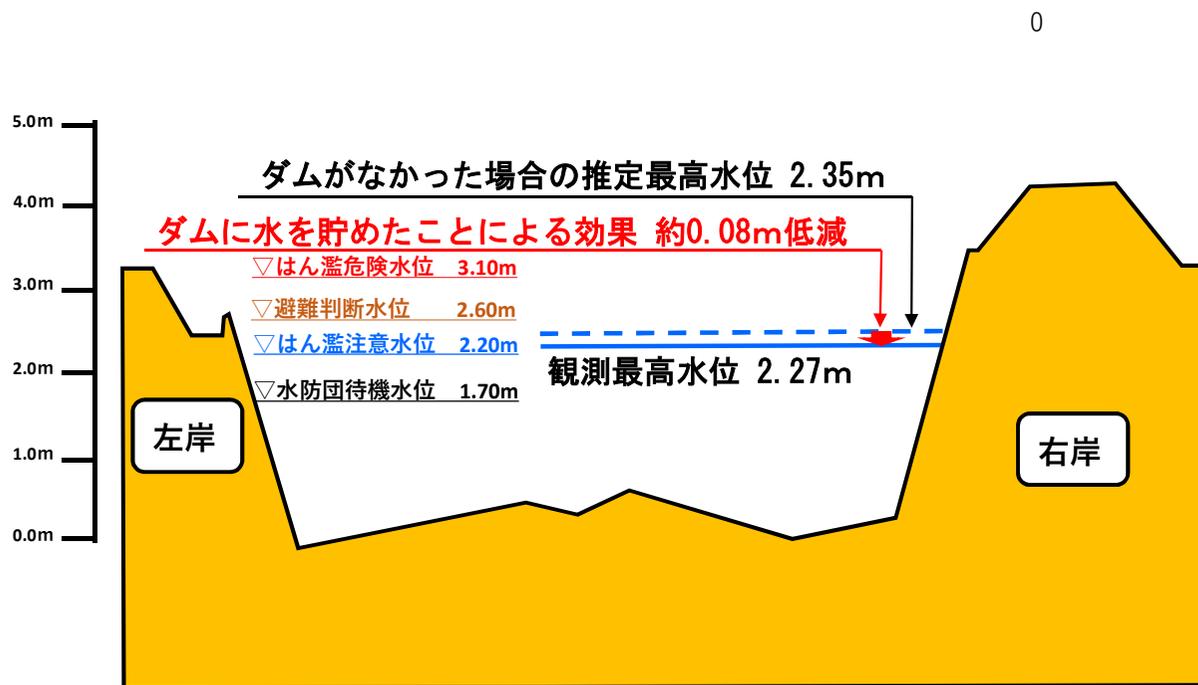


独立行政法人水資源機構

阿木川ダム管理所



大門水位観測所地点での水位低減効果（イメージ図）



河川水位の標記については

国土交通省HP「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」

大門水位観測所地点 現地写真（洪水前）（令和4年9月16日撮影）



大門水位観測所地点 現地写真（洪水後）（令和4年9月24日8時57分頃撮影）



阿木川ダム防災操作図 令和4年9月23日～24日

